

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
産業・環境保健学特論	2単位30時間 講義科目	博士前期1年次 通年開講	<input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	千葉 敦子		
担当者	千葉 敦子、渋谷 克彦 (非常勤)、色川 俊也 (非常勤)、大西 一成 (非常勤)、 チ・マー・ワイ (非常勤)		
<b>1. 科目のねらい・目標</b>			
<p>ねらい：公衆衛生の5領域のひとつである産業・環境保健学について、グローバルヘルスの観点から健康障害の原因・機序・対策、国内外の取組や制度、今日的課題などの基礎的知識を身につける。</p> <p>目標：1. 環境要因が人・集団に及ぼす健康影響について説明できる。  2. 国内外における環境問題の現状とその対策について説明できる。  2. 産業保健の基本的な労働関係法令および労働衛生5管理を説明できる。  3. 産業保健に関連した最近のトピックについて説明できる。  4. 産業医及び産業保健看護職の活動の実際と課題について説明できる。  5. 公衆衛生活動を進めるにあたり必要となる、多職種連携、経営、危機管理などの活動を説明できる。</p>			
<b>2. 授業計画・内容</b>			
<p><b>【環境保健】</b>  チ・マー・ワイ (2コマ)：水と土壌、暴露評価、環境疫学  大西一成 (6コマ)：気候変動と健康影響、ワンヘルス、大気汚染、日本の環境保健の研究、放射線物質、たばこの健康被害</p> <p><b>【産業保健】</b>  渋谷克彦 (2コマ)：労働関係法令の読み方と労働安全衛生法の基本内容、健康経営、コラボヘルス、その他最近のトピック  色川俊也 (3コマ)：総論・労働衛生の5管理、産業医の職務 (安全衛生委員会、職場巡視)、産業医と健康管理 (長時間労働者、有害業務の健康影響と特殊健康診断、両立支援)  千葉敦子 (3コマ)：健康管理、メンタルヘルス対策、健診事後措置、健康教育 (労働衛生教育)、産業看護職の役割と機能</p>			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
<p>毎回授業開始時に資料を配布する</p> <p>参考書：『労働衛生のしおり』、中央労働災害防止協会  ・産業医の職務 Q&amp;A 第10版 増補改正版 公益財団法人産業医学振興財団  ・必携 産業保健看護学 - 基礎から応用・実践まで、公益財団法人産業医学振興財団</p>			
<b>4. 成績評価方法</b>			
<p>(1) レポートおよび課題 (70%)  (2) 議論への参加 (30%)  *各担当教員において課題が課される場合がある</p>			
<b>5. 受講要件</b>			
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b>			
各担当教員においてオンデマンド視聴を可能とする場合がある。オンデマンドの場合はレポート課題を課す。			
<b>7. その他</b>			
生きるを支える環境、働くを支える産業保健について、学び合いましょう。			